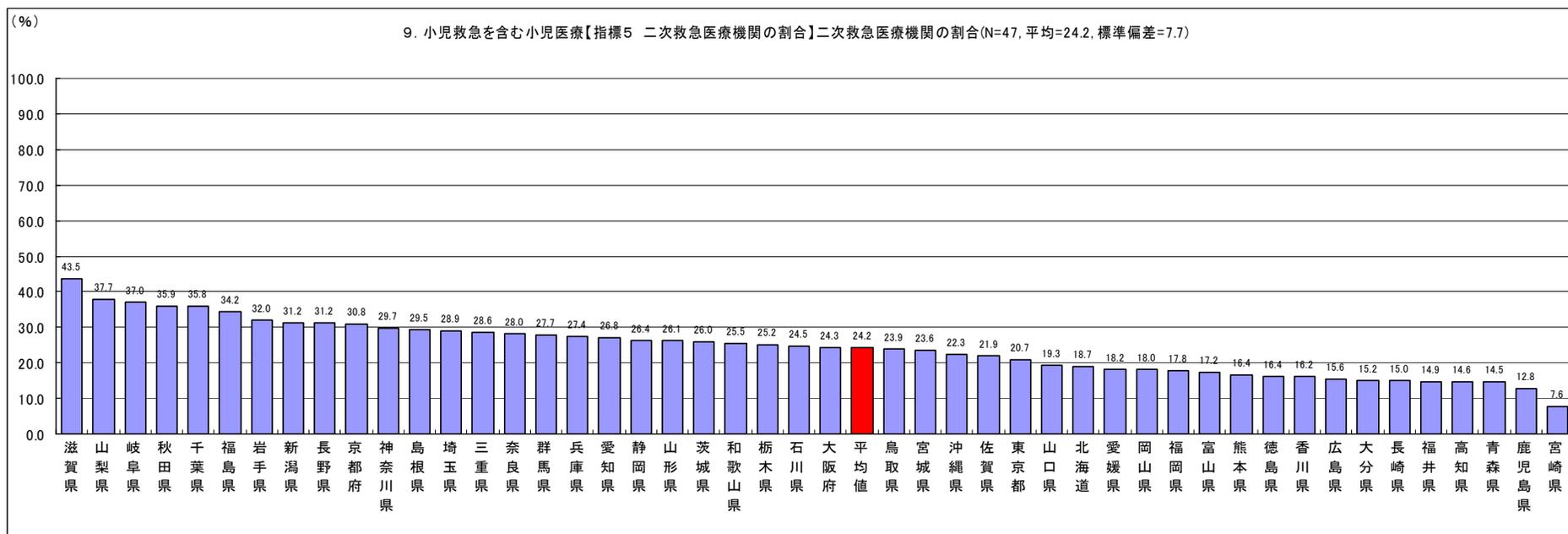
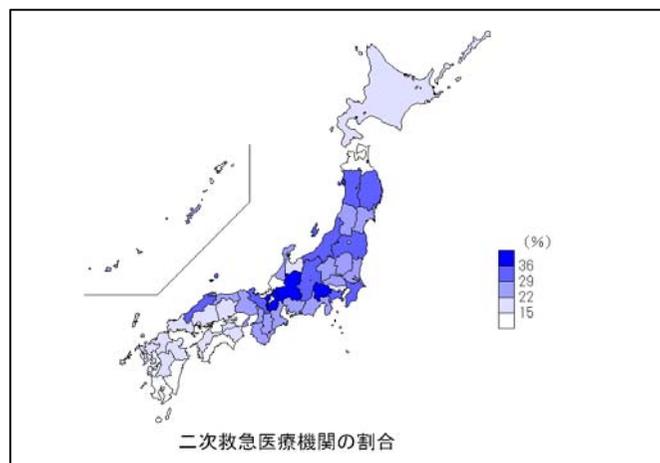


・ 小児医療-5 二次救急医療機関の割合

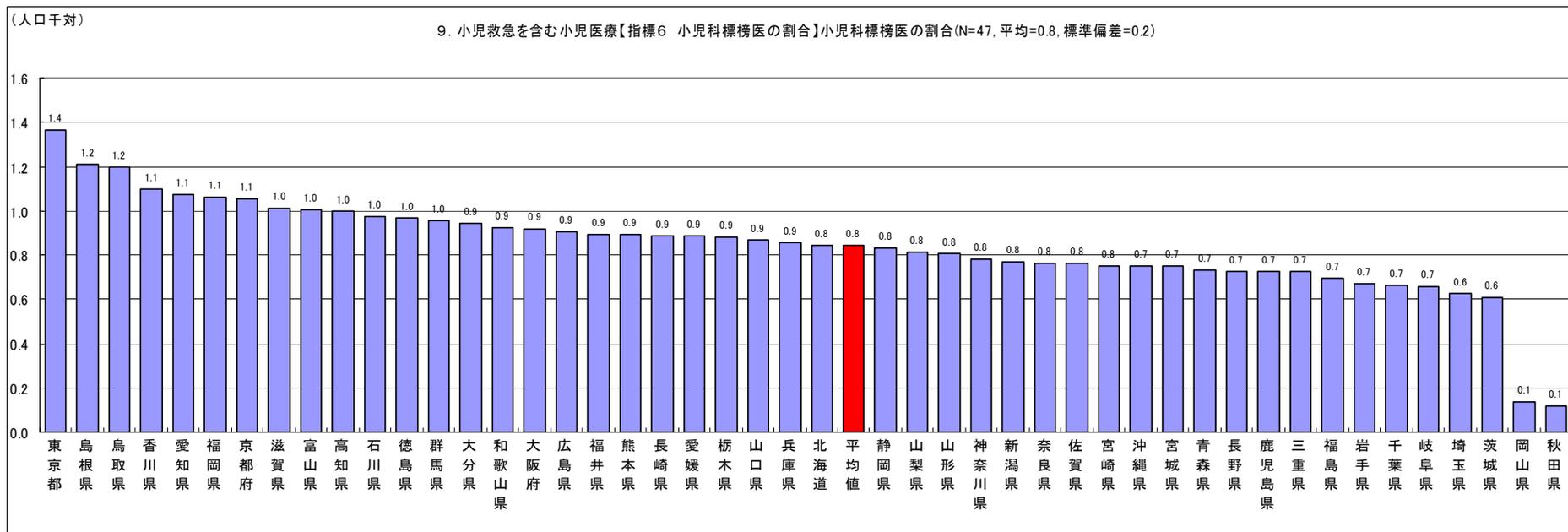


166

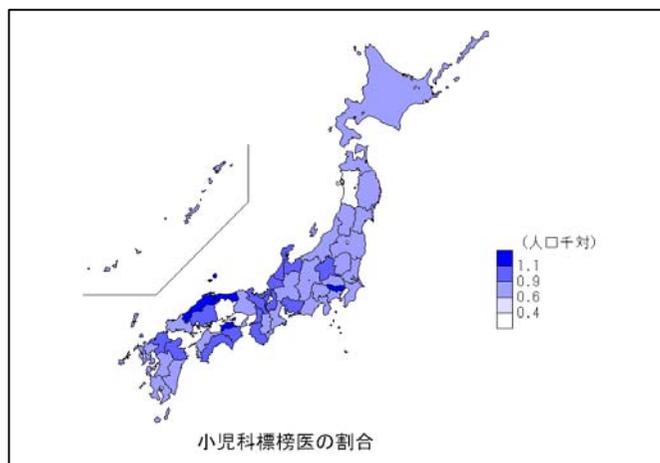


- ・ 「実際にどこにいけるのか」を把握するための指標として用いています。
- ・ 滋賀県が最も高く、宮崎県が最も低い結果です。平均値は24.2、標準偏差は7.7です。
- ・ 地域的な傾向として、関東甲信越から東北地方で割合が高く、中国・四国・九州地方で割合が低くなっています。

・ 小児医療-6 小児科標榜医の割合

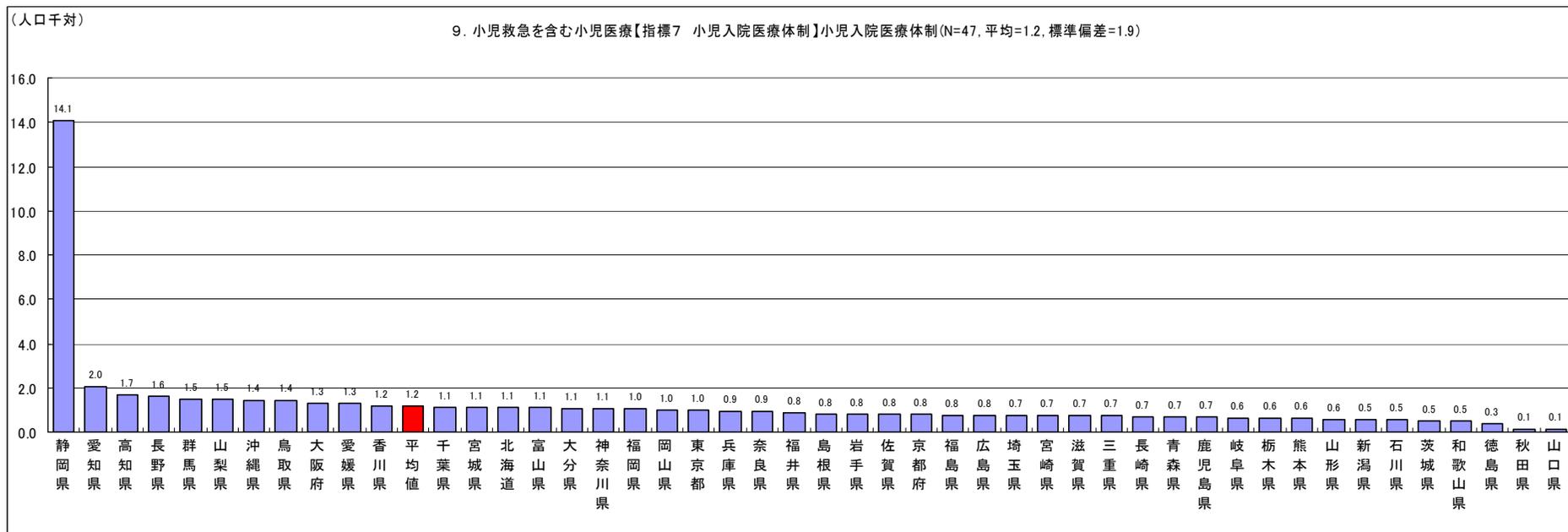


167

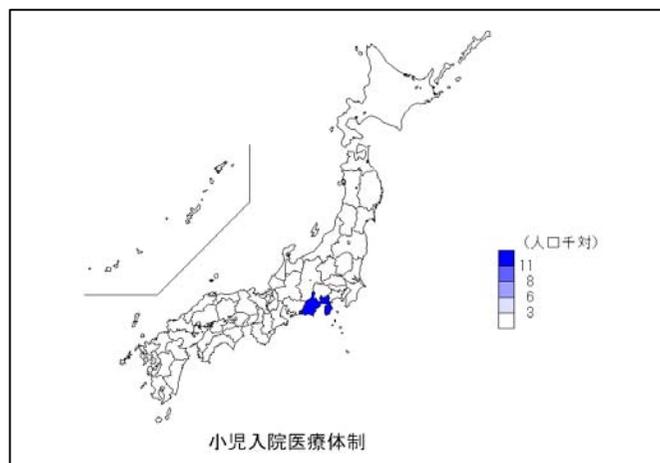


- ・ 「適切な医療が受けられるのか」を把握するための指標として用いています。
- ・ 東京都が最も高く、秋田県が最も低い結果です。平均値は0.8、標準偏差は0.2です。
- ・ 地域的な傾向として、東海・四国・九州北部地方では平均より高い傾向です。

・ 小児医療-7 小児入院医療体制



168



- ・ 「適切な医療が受けられるのか」を把握するための指標として用いています。
- ・ 静岡県が最も高く、秋田県、山口県が最も低い結果です。平均値は1.2、標準偏差は1.9です。
- ・ 地域的な傾向は特に見られませんが、静岡県の体制が突出して高くなっています。